



無会派 市川 英敏

阿賀野市の産業振興について

質問 平成24年9月の第6回定例会での農業振興についての一般質問の中で、阿賀野市の基幹産業の一つである農業の振興なしに阿賀野市の発展はないとし、関係機関や担い手農家と共に圃場整備事業を積極的に推進して参りたいと前向きな回答をいただいたが、市においてはこの半年間どの様な取り組みをされたのか、圃場整備の

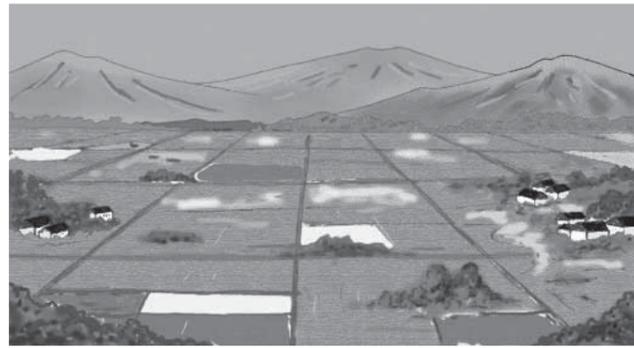
必要性、又重要性として農作業の効率化が挙げられる。実例を申し上げると阿賀野市の長起地区では圃場整備後10アール当たり労働時間が21%に、生産費が46%と大幅な削減となっている。魚沼市の伊米ヶ崎地区においても労働時間3分の1に、上越市・中江北部第2地区では労働時間40%、生産費60%に軽減している。農業経営において大変な数字である。急務である圃場整備について伺う。

答弁 ご指摘のとおり「阿賀野市は農業が基幹産業であり、農業の振興なくして阿賀野市の発展なし」と言ってきた。

また、農業発展の一つの手段として、土地生産性の向上が図られる「圃場整備」を、生産の組織化と併せ推進する事が大切であり、新潟県農地部と土地改良区や農協など関係機関一体となり推進に努めるとお答えした。

現在の「阿賀野市農業農村整備

計画」では5地区の圃場整備を計画しているが、今後は、これに捉われる事なく、小区画であったり排水路など生産条件が悪く要望の多い地区を優先的に、スピード感をもって事業推進に努めていく。



阿賀野クラブ 山崎 正春

職員の給料について国の指示どおり削減を実施するのか

質問 国は、東日本大震災の復興財源に充てるため、国家公務員の給料を減額している。これにより地方公務員についても減額を求め地方交付税を強制的に減額し、地方公務員の給料を削減させようとしているが、地方分権の観点から根幹に関わる問題であるが市長の所見を伺う。

答弁 地方交付税削減を伴う地方公務員給与の削減という国の強制的な手法については、地方分権の根幹に関わる問題であり、本市はすでに職員数の削減などで総人件費の削減に取り組んできた経緯があり、独自の行政改革への取り組みも考慮した上で、地方公務員の給与は、地方が自主的に決定すべきものであり、適切とは言えないものと考えている。

今後の取り組みとしては、国と地方の協議の場にも影響することから、県や県内市町村、全国の自治体の動向を見ながら判断していく考えである。

文化会館の建設計画はどのようになっているのか

質問 先の選挙に際し、市長の公約や市民座談会に於いて文化会館の建設計画についての要望が非常に多くあった。



現在当市には社会教育団体が約200団体近くあると言われていて、現在200席程度しかない会館では各種発表会を充分できない。市長の考えを伺う。

答弁 私の市長選時の政策の柱の中で示したのではないが、文化団体の皆様を中心に望む声が多かったようである。具体的な計画はないが、財政状況を勘案して今後の検討課題としていく。



日本共産党 宮脇 雅夫

災害時や所得の少ない人の医療費窓口負担の軽減を

質問 国保法では、医療機関に一部負担金を支払う事が困難である場合に、支払いの減額、免除、猶予することができるとしている。長岡市は、減免事由を災害、病気、失業、収入減、低所得等として、家屋等の損害規模や所得に応じて全免除と半額免除を定めている。11年度の実績は、688件の減免実施、総額165万円。減免

制度を実施していないのは県内で8自治体だけ。当市も、早期に受診してもらい重症化を防ぐ点からも、制度をつくるべきだ。

保田市街の旧国道49号を改修し、「安全安心な道路」に

質問 保田市街地の幹線市道(旧国道49号)は、歩道、消雪パイプの損傷、舗装面の陥没やひび割れなどの老朽化が進み、大変危険な道路となっている。住民は、「安全安心な道路」、「歩行者に優しい歩ける歩道」にして欲しいと強く望んでいる。国の補正予算も活用して、抜本的な改修を進めよ。

答弁 旧49号も含めた市道の総

点検を行い、修繕計画を策定して実施したい。

質問 生活保護を受けている人の25・1%が子ども時代に生活保護を受けていたという調査結果があり、「貧困の連鎖」があるといわれている。この連鎖を断つために最も有効な手段が、小中学生への教育支援である。田中市長は、選挙公約で「低所得者家庭の学習塾」実施をにかけていたが、ぜひ実行すべきでないか。



新政クラブ 近山 修

宝珠温泉の運営について

質問 市民の憩いの場として親しまれている宝珠温泉。施設内の食堂が昨年9月末で閉鎖になり、利用者が必要を感じている。今後、食堂の再開等利用者の不便解消をどのように考えているのか伺う。又、日曜日毎に各種団体による催しが開催されているが、宝珠温泉職員のサポート等について伺う。



宝珠温泉あかまつ荘

要望に応えられるよう、市内業者の協力を得て毎日訪問販売を実施しているが、メニューや販売時間に制限があるため、要望に応えられていないのが現状。お客様の要望に応えるには、食堂の営業は必要と考え、食堂の営業再開に向けて協議中である。又、催し物を行う団体へのサポートは、利用団体に対して事前にステージ及び放送機器の使用説明等を行い、気持ち良く円滑に発表できるようにサポートを行っている。

質問 市の中心部(水原地区)にゴミステーションがなく、地面にベタ置きされている。市の景観や衛生の面で問題があると思う。市としてどの様な改善する取り組みを行っているのか伺う。

答弁 市の中心部では住宅や店舗などが密集し、ごみ収集の設置場所を確保することが困難なために、ごみ収集のないゴミステーションがある。折り畳みできるものや、キャスター付きで移動できるものなど、比較的場所をとらないごみ収集箱があるので、用地の確保が困難な自治会には、ごみ収集設置費補助金交付要綱(6万円を上限として事業費の2分の1を補助)により支援していきたいと考えているので、自治会長会議等で周知していく。